

古仁屋（こにや）漁港（鹿児島県瀬戸内町）（第4種）

■地区の概要

主な魚種：まぐろ類，かつお

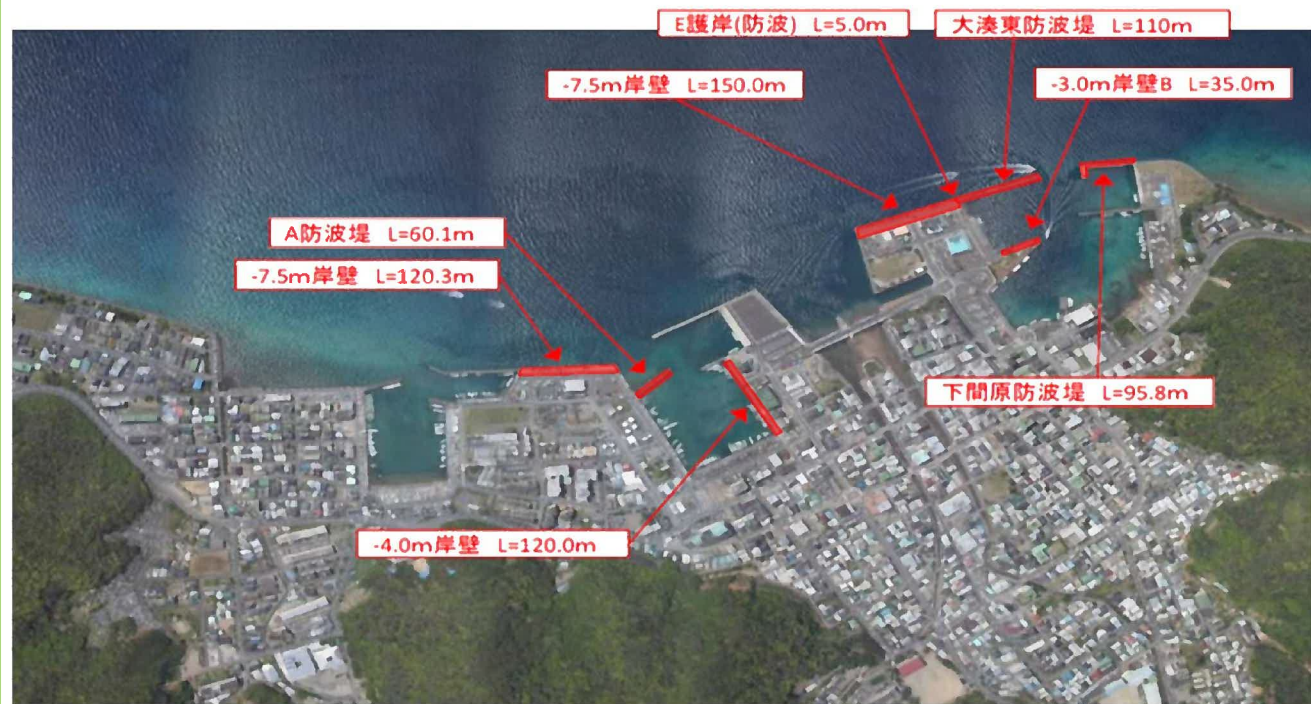
本地区は、およそ380km離れた奄美大島の南端に位置する離島で、大島海峡を挟んで加計呂麻島、請島、与路島等の多数の美しい島々に囲まれている。

漁業については、沖合・沿岸漁業によるかつお一本釣りやはえ縄漁業等により、まぐろ・かつお等を中心とした陸揚げ基地として栄える生産拠点漁港である。また、鹿児島～奄美航路及び町内離島航路等の定期船や大型観光船等寄港する海の玄関口となっている。

■事業の目的

本漁港は、南海トラフ地震防災対策推進地域内にあるとともに、県地域防災計画で最大震度7の奄美群島太平洋沖（北部）地震が想定されているが、定期船の接岸する-7.5m岸壁の他、主要な係留施設や外郭施設は耐震・耐津波性能が確保されておらず、漁港施設の被災により、漁業活動のほか、定期船による人・物資の輸送に支障が生じ、島民の生活や外来船の利用に大打撃が生じる。

よって、これらの施設の耐震・耐津波性能を確保するための整備を行う。



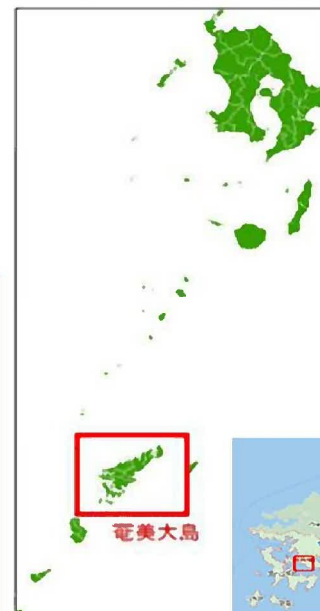
事業内容:

■主な事業量

大湊東防波堤(改良)、E護岸(防波)(改良)、下間原防波堤(改良)、A防波堤(改良)、-7.5m岸壁(改良)、-4.0m岸壁(改良)、-3.0m岸壁B(改良)

■事業期間: R1～R10

■事業主体: 鹿児島県



定期船利用状況

